

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	教育総務課(学校教育担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	適応指導教室運営経費	事業番号	326

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-4	特別支援教育の充実
	施策目標	子どもたち一人ひとりの教育ニーズに応じた特別支援教育が受けられるまち	

2 事務事業の目的

目的	根室市適応指導教室「ふれあいくらぶ弥生」において指導員と不登校児童生徒との信頼関係を構築し、生活の立ち直りの支援を行うことや、体験活動や集団活動を通じて、興味関心を広げ、対人関係の改善を図る。
成果	不登校児童生徒の一日も早い学校への復帰を支援する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	適応指導教室の運営						
	28	適応指導教室の運営						
	29	適応指導教室の運営						
	30	適応指導教室の運営						
	31	適応指導教室の運営						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		346	1,037	1,037	1,037	1,037	4,494
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他		4	4	4	4	16
	一般財源		346	1,033	1,033	1,033	1,033	4,478
	人員(人工)		0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	
職員費(人員×8,081千円)		323	323	323	323	323	1,615	
総事業費		669	1,360	1,360	1,360	1,360	6,109	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	適応指導教室から学校復帰できた児童生徒の割合	50%	70%	80%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	児童生徒が教育を受ける権利を保障する。
-------------------	---------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 児童生徒が教育を受ける権利を保障するため必要である。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 不登校となる背景には、いじめや障がい等の問題に起因する場合もあり、学校や家庭のみでは対処できない。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 常時開設している必要がある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 人材の確保に課題がある。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地はある 適応指導教室に通っていない不登校児童生徒への支援は現状ではできていない。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 適応指導教室での指導や在籍校による出前授業により社会とのつながりを保ち、学校へ復帰することができる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、人材確保や未利用者への支援などの課題解決を図るなど、より一層の推進に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 教育を受ける機会と適切な教育の場を提供するため、積極的に措置を講ずる

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	教育総務課(学校教育担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	特別支援教育推進事業	事業番号	12485

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-4	特別支援教育の充実
	施策目標	子どもたち一人ひとりの教育ニーズに応じた特別支援教育が受けられるまち	

2 事務事業の目的

目的	特別な支援を必要とする子どもたち一人ひとりの教育ニーズを把握し、生涯にわたる一貫した支援を実現するため、教育・保健・福祉等の各分野をつなぐ役割を担うことを目的として、根室市個別の教育支援計画の配布、教育相談室りんくすの開設及び特別支援教育専門員を配置する。
成果	生涯にわたり支援が途切れることなく、子どもたちが地域で生活し、自立的な社会参加の促進が期待される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	根室市個別の教育支援計画の作成及び配布 教育相談室りんくすの運営・特別支援教育専門員の配置 道委託事業「早期からの教育相談・支援体制構築事業」の実施						
	28	根室市個別の教育支援計画の見直し及び配布 教育相談室りんくすの運営・特別支援教育専門員の配置						
	29	根室市個別の教育支援計画の見直し及び配布 教育相談室りんくすの運営・特別支援教育専門員の配置						
	30	根室市個別の教育支援計画の見直し及び配布 教育相談室りんくすの運営・特別支援教育専門員の配置						
	31	根室市個別の教育支援計画の見直し及び配布 教育相談室りんくすの運営・特別支援教育専門員の配置						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		4,641	8,300	3,138	3,230	3,230	22,539
	内訳	国庫支出金		1,567				1,567
		道支出金	2,022					2,022
		地方債		3,000				3,000
		その他	11	10	11	11	11	54
		一般財源	2,608	3,723	3,127	3,219	3,219	15,896
	人員(人工)		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
職員費(人員×8,081千円)		8,081	8,081	8,081	8,081	8,081	40,405	
総事業費		12,722	16,381	11,219	11,311	11,311	62,944	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	子育てファイルリンクす・ねむろの配布率	100%	100%	100%
	教育相談室の利用者数	20件	40件	50件
	特別支援教育に関する研修会の開催回数	3回	4回	5回
	特別支援教育支援員の配置人数	7名	7名	7名

**事務事業改善策
(継続事業のみ記入)** 特別支援教育体制の充実には、教職員の特別支援教育に関する知識・理解を深める必要があり、通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒も増加傾向にあるため、特別支援学級担任以外の教員の資質向上が課題である。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	特別な支援を必要とする児童生徒が生涯にわたり一貫した支援を受けられる。また、子どもたちが適正な就学の場で学ぶことができ、相談体制が充実することにより保護者の負担も軽減される。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 特別支援教育の充実には、学校及び保護者からの要望が強い。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 学校教育法、障害者自立支援法、学習指導要領に基づき、市が実施すべき事業である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 恒常的に事業を継続する必要がある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の可能性はある 適切な支援を行うため、専門員の専門性の向上と、保健・福祉・医療との連携を在り方の検討をしなければならぬ。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 特別な支援を必要とする子どもたちに限らず、全ての子どもたちの一貫した支援に資する。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 特別支援教育を充実させるために必要不可欠である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、事業内容の効果検証等を行いながら、より一層の充実に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 早期からの一貫した支援を継続するため速やかに実施する。

作成年度 平成27年度